



編集・発行 山見妙勢能
山見妙勢能報部
〒563-0132
大阪府豊能郡野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

ひねくれ者の強さ

植田 観肇

妙見山の境内には一万年
続くブナの自然林があり、
大阪府と兵庫県川西市の二
府県にまたがり天然記念物
に指定されている。

一万年と聞くと気が遠く
なりそうなくらい遠い話の
ように感じるが、それは毎
日毎日の自然のサイクルが
重なったことの結果に過ぎ
ない。とはいえ、一万年が
一日の積み重ねでできてい
ると思うと、当たり前の山
の景色もダイナミズムあふ
れた生き物のように見えて
来る。

そんな一万年続く森の中
を歩くと何百年も生きて来
た木々に出遇うことができ

る。中でも大木のブナなど
は、一見まっすぐ立ってい
るように見えるのだが、よ
く見ると皆身体をひねり、
ねじるようにして空に伸び
ているのが分かる。

生態学の先生に尋ねると
これはねじることで強度を
高めているのだと教えてく
ださった。そのときは、人
間も多少ひねくれている方
が長生きするのかもしれない、
などと冗談を言いつて終
わっていたのだが、あとで
調べてみると、木がねじれ
るのは風の影響が強いとい
うことが分かった。

木は毎日毎日風にさらさ
れるが移動して逃げること
もできないので、その風に
身を任せて少しづつ柔軟に
身をひねって風を逃がす。

それが積み重なることで中
の繊維が、ちょうど絞った
雑巾のようにひねられる。
雑巾は絞れば絞るほど堅く
なるが、木も同様に強度が
上がっていく。それが何十
年何百年と続いていくこと
で十階建てのビルほどもあ
る巨体を支える礎となる。
継続は力なりとはまさにこ
のことだ。

信仰のあり方を説かれた。
火の信仰とは、火がついた
ときは勢いよく燃え上がる
が、すぐに燃え尽きてしま
い長続きしない信仰。逆に
水の信仰とは、後戻りする
こと無く柔軟に形を変えな
がら着実に進む水のような
信仰をいう。
私たち人間の寿命はせい
ぜいわずか数十年だが、柔
軟な心で毎日の信仰を積み
重ねていきたい。

《法華經に学ぶ現代》

〜純智庵〜

我が法を

聞く者は

力の受くる

所に随って

諸の地に

住す

同じ話を聞いたとしても
受け取り方はさまざま
立場でみんな違うでしょう

仏の教えも同じです
あなたがそれに耳傾けて
暮らしの糧とするならば

それこそ私の願いだと
私は静かに語るでしょう

『薬草論品第五』

〔6月の主な行事〕

- ★写経会 11日(日)11時
- ★月例祈願法要 15日(木)13時
- ★星嶺演奏会 18日(日)11時
- ★星嶺茶論 18日(日)13時
- ★鷗様月例祭 22日(木)15時

〔7月の行事予定〕

- ☆七夕祭 7日(金)〜8月7日(月)
- ★月例祈願法要 15日(土)13時
- ★星嶺演奏会 16日(日)11時
- ★星嶺茶論 16日(日)13時
- ★鷗様月例祭 22日(土)15時

- ★写経会 9日(日)11時
- ★月例祈願法要 15日(土)13時
- ★星嶺演奏会 16日(日)11時
- ★星嶺茶論 16日(日)13時
- ★鷗様月例祭 22日(土)15時
- ※火伏守札を授与
- ◆『交通のご案内』
- ◆ケーブル&リフト毎日運行中

それぞれの実りと収穫を

桑木信弘

能勢の山々も新緑に染まり、私のお寺の周りに広がる棚田にも水が張られ一斉に田植えがされました。棚田は昔より先人達が大変な苦勞をして造り上げてきたものだそうです。春の暖かさを実感出来るようになったこれからの季節、晴天には水田に青空と白い雲が映し出され、まるで合わせ鏡の様な美しい光景が能勢を彩ります。苗は、これから秋まで太陽と雨と、母なる大地の恵みの水により成熟していきます。さて、現代のように、人工衛星の観測で天候を予測し、灌漑など整備しての農業と違い、天地の恵みのみが頼りの昔の人々にとって、今とは比べものにならないほど自然界に畏怖の念を覚えていました。

そのため古代中国では、天を觀察し、不動の北極星を中心とした星の運行に天地と人の在り方を感じ、重視していたといえます。

十二支で北は子の方角である事から北極星は子星とも言われ、沖繩ではニヌファブシ(子の方星)と言います。さらにその歌がありその歌詞の中に、

天上に群れる星は数えれば数え切れても親の教えは数え切れぬ

夜の海を往く船は北極星を目当てにする

私を生んだ親は私の目当て宝玉と言えど磨かねば錆びてしまう

朝夕と心を磨きながら日々を生きて行こう

満たされてはいる時ほど謙虚さを忘れてはならぬ

稲穂が実ると頭を垂れるとあります。

先人、親の苦勞や周りとの縁を忘れ、ついつい不平や愚痴を溢しては心を曇ら

6月に入ると学校など一斉に衣替えが行われ、なんだか一気に夏がやってきたような、爽やかな気分になる。

身延山久遠寺を始めお寺では日蓮聖人のお衣を替える御更衣式を執り行うお寺もある。

また、衣だけでなく襖を御簾に替えたり、暑さとは直接関係ない調

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

度品も涼しげな物にしたり。この時期は蒸し暑い日本の夏を乗り切るための昔の人の工夫が随所に見られる。

厳しい夏に備えてエアコンを掃除するのも大切だが、気持ちの上においても夏を迎える準備をするというのが先師の智慧なのかもしれない。

U.K

暦のあれこれ

十二直

十二直は暦の吉凶判断の一つで、建(たつ)除(のぞく)満(みづ)平(たいら)定(さだん)執(とる)破(やぶる)危(あやぶ)成(なる)納(おさん)開(ひらく)閉(とづ)の十二種類が順繰りに日に配当されるものです。暦の中段に記載されている為、「中段の暦」とも呼ばれ、昔は吉凶を見るのに最も重要視されていました。

十二直の直の字に、「あたるといふ意味があることからもよくあたる暦注とされてきた事がうかがえます。

元々は人々に崇められていた北極星、そしてそれを中心にして地球上を周る北斗七星の信仰から始まっており、歴史は古く日本では飛鳥時代には使われていたそうです。現在であつても日々の吉凶を見るのに、十二直を使う人は少なくありません。

俳壇

（みのり）

登校の足並みそろろう青葉路

若人のハミング弾む川下り

橋の上と手を振り交す舟遊び

薔薇館白きテラスの喫茶室

たそがれのそぞろ歩きや河鹿鳴く